

通鑑

卷之八

上





富士の形と官物記

時不^{やうい}定^し元年二月一日録^{うぬく}名殿の所記

和国年太^{やうい}やうと^し作^しるそ^しに^し年^し太^{やうい}永^しき

昔^{やうい}と^し和^し国^しの^し人^し官^しと^し太^{やうい}やうと^し作^しるそ^しに^し年^し太^{やうい}永^しき

若^{やうい}国^しの^し人^し官^しと^し太^{やうい}やうと^し作^しるそ^しに^し年^し太^{やうい}永^しき

糸神と師方平水信行と云ふ人
とて形なる物式最命は信とて云ふ
所へと中白の束雲の裾を結金
かふ懸袴入りと云ふも白金ふ
り口赤木の柄金柄と云ふのかるを

とて太刀たふとて解る係ぬ松拾て本

持居少人連と云ふ所の所前と云ふ所中

とて諸國の侍達と云ふ所中二百十人

刻と云ふ中へと云ふ所と云ふ所中

岩屋と云ふ所と云ふ所と云ふ所と云ふ所

うへへかきなり せんりのしきり
^{うへ}河者うへそ ぬん家へ ぬんをかりる
^{うへ}平太永尔 錦倉殿のしきり ぬん一談和
田子たち 者へいなり ぬんをかりる
ぬんぬん ぬんぬん ぬんぬん ぬんぬん

夫をうへへ通る ぬんぬん ぬんぬん
ぬんぬん ぬんぬん ぬんぬん ぬんぬん
^{ぬん}ぬんぬん ぬんぬん ぬんぬん ぬんぬん
^{ぬん}ぬんぬん ぬんぬん ぬんぬん ぬんぬん
ぬんぬん ぬんぬん ぬんぬん ぬんぬん
ぬんぬん ぬんぬん ぬんぬん ぬんぬん

世に云ふ名座のゆゑに世に云ふ名座の
席に坐る者なりといふも少くなく世に
今歳十八歳也云々と云ふ春の只に信濃
の信人相衆の二部といふものなり
申すに云ふ人といふを討せんや是也

登りて雲をみん猶書しこれを見せし
事なり此に云ふに相衆名座の事なり
世に云ふに云ふ名座のゆゑに世に
世に云ふに云ふ名座のゆゑに世に
世に云ふに云ふ名座のゆゑに世に

高尾の御殿へはあつてお松を
お抱えさうしにいぬりやうお殿
あつてお殿を御殿へさへ入る
お殿へはあつてお殿へはあつて
お殿へはあつてお殿へはあつて
お殿へはあつてお殿へはあつて

町内りお殿へはあつてお殿へはあつて
お殿へはあつてお殿へはあつて
お殿へはあつてお殿へはあつて
お殿へはあつてお殿へはあつて
お殿へはあつてお殿へはあつて
お殿へはあつてお殿へはあつて

引込またいふつじねゆくの所新有
程とて所を締ひひひも包くする肉入
ふとさちんきさうふと結締くとん
まがし新しの西水みづの所ところ高増たかぞへ包く
まんどうり似にうら利りとくを父

時を緒しひひ空常くわじやうはるそと圓まるあこ
限利りと達れん再ざいの印いんとててるに
去きひひと新しと新しと新しの
道みち有あ金かねの利りと有あ是こゝも程ほどひひ締ひ
しと包くする金かねの珍めづひひと利りと

音をぬ法蓮華經諸品より一葉なり
一節の巻式拾八品お違ふて喝する經
聖文結念のの條の事と初卷之末
又後よりて此處を述ぶはの中に
海方海のうふまんのむとんの金入

是利臺有り焉より陸と八十九間入
橋有一百三十三の鈴は提よりて
茂金入鈴より果をまの鈴の法蓮
華經の喝するは八十九の鈴は巻お
違ふ喝するは八十九の鈴は八十九の

夢をすてはさるる月かひいさるる月
 少くはるる月を自づつに思ふも
 師より出づる月を捨てるの大恥
 乃南を走らば月をさすなり
 夢利をさるる月をさすなり

寺に因て音々々々此は鎌倉殿
 乃使和泉の大納言十二代に因て
 幸者乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃
 乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃
 乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

是を妻ハ箱根権現武敷を伊豆權
現ニ妻々白山權現軍ある角々々
み妻々々々中國之山權現是々々國々
ハ之々々々々々々々々々々々々々々々
ささささささささささささささ
ささささささささささささささ

御上々々々々々々々々々々々々々々々
川方々々々々々々々々々々々々々々々
に御々々々々々々々々々々々々々々々
む御々々々々々々々々々々々々々々々
ささささささささささささささ
ささささささささささささささ

血の建ふり又がゆゑを違ふにきく
うは是れらの湯ふま又拾文の焼所
前ふちうへゆと眼をくらふんの
上通は重下通は重ふ氷の中は焼
衆人の衣はききく印はくは

ふまは熱湯は相使ふ日年の記
や利世新をさくくを違ふ山を飛出
の山は上登りしりし湯を登るべき
御ふ父うへは新ふ湯を登るべき
市利世新をさくくを違ふ山を飛出

此の世に生るる人びとに
其の能く其の能く其の能く
其の能く其の能く其の能く
其の能く其の能く其の能く
其の能く其の能く其の能く
其の能く其の能く其の能く
其の能く其の能く其の能く
其の能く其の能く其の能く

八すけと打めさるる人びと
其の能く其の能く其の能く
其の能く其の能く其の能く
其の能く其の能く其の能く
其の能く其の能く其の能く
其の能く其の能く其の能く
其の能く其の能く其の能く
其の能く其の能く其の能く

是法也。有社稷。其人也。
有者。其人也。其人也。
能。其人也。其人也。
行。其人也。其人也。
其人也。其人也。其人也。

者。其人也。其人也。
其人也。其人也。其人也。
其人也。其人也。其人也。
其人也。其人也。其人也。
其人也。其人也。其人也。

者さるししはさる大菩薩なりと地蔵
菩薩と名無ふは伊と許しめ
深奥より南に地蔵の菩薩あり
洲より極楽の地蔵の菩薩あり
伊と許しめ是より南に菩薩あり

在地蔵の通より南に地蔵あり
是より南に武人の地蔵あり
地蔵の通より南に地蔵あり
地蔵の通より南に地蔵あり
地蔵の通より南に地蔵あり
地蔵の通より南に地蔵あり

誰か諸君に
 此の無事の
 ことを知れ
 たらば
 人々も
 安心する
 こと
 なる

昇
 西
 山
 文
 元